

第10回EAS参加国外相会議
議長声明（概要）

令和2年9月9日

【EASのレビューと将来の方向性】

- EASは、ASEANを原動力として、国際的な規範及び国際法の普遍的な価値観を強化しようとする、開放的、包摂的、透明かつ外向きのフォーラムであることを再確認。多国間主義及び国際法に基づいた国際秩序の強化におけるEASの役割の重要性を強調。（パラグラフ3）

【協力分野】

（国際保健及び感染症）

- 新型コロナによる保健、経済及び安全保障上の影響に対処するため、国連及びWHOと協議しながら、地域・国際的に協力することにコミットした。新型コロナへの対応に関する第73回世界保健総会決議の採択を歓迎し、本決議のフォローアップの重要性を再確認。（パラグラフ14）
- 地域の回復及び国際保健のために地域の連結性及び関わりを全面的に取り戻すため、安全で効果的な新型コロナワクチンへの公平かつ公正なアクセスの決定的重要性を強調。（パラグラフ19）

（ASEAN連結性）

- 地域における貿易、投資及びサービスにおける競争力を高めるために、地域における連結性に関する様々な戦略の更なるシナジーを促進させるとともに、東アジアにおいて、国際スタンダードに従った、持続可能で良質なインフラ開発を促進することの重要性を再確認。（パラグラフ23）

（経済協力及び貿易）

- 東アジア地域包括的経済連携（RCEP）参加国の閣僚は、RCEPがインドに対して引き続き開かれていることに留意しつつ、本年末までに、RCEP交渉を妥結するための強化された取組を認識。（パラグラフ26）

（海洋協力）

- E A S 参加国での海洋協力強化を支持。A R F、A D M M プラス、A S E A N 海洋フォーラム拡大合会との重複を避けた連携強化の必要性を強調。(パラグラフ 2 8)

(ラカイン州情勢)

- 紛争の根本原因に対処するための恒久的な解決策を見出し、影響を受けたコミュニティが生活を立て直すのに資する環境を作ることの必要性を強調。(パラグラフ 3 3)

【地域及び国際情勢】

(朝鮮半島)

- 朝鮮半島の平和プロセスを前進するための、過去 2 年間にわたる全ての当事者による取組と成果を認識。非核化された朝鮮半島の恒久的な平和及び安定を実現するため、全ての当事者による継続した持続的な対話及び平和的解決の重要性を強調。全ての当事者に対し、対話を再開するとともに、韓国と北朝鮮の間の板門店宣言文及び平壤共同宣言並びに米国と北朝鮮の首脳による共同声明の完全かつ迅速な実施を通じたものを含め、朝鮮半島における恒久的な平和、安定及び非核化に向けて、建設的に取り組み続けることを求めた。朝鮮半島の平和と安定を維持することの重要性を強調し、南北関係を前進させるための韓国の提案に留意。全ての国連加盟国による全ての関連する国連安保理決議の完全な履行を改めて表明し、朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組を支持。複数の閣僚が、拉致問題の解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。(パラグラフ 3 4)

(南シナ海)

- 南シナ海における平和、安全保障、安定、安全並びに航行及び上空飛行の自由の維持・促進の重要性を再確認。南シナ海を平和、安定及び繁栄の海とすることの利益を確認。南シナ海における行動宣言(D O C)を全体として完全かつ効果的に履行することの重要性を強調。A S E A N と中国の間の協力関係が継続的に改善されていることを歓迎し、相互に合意されたタイムラインの中で、国際海洋法条約(U N C L O S)を含む国際法と統合的に効果的かつ実質的な南シナ海における行動規範(C O C)の早期妥結に向けた実質的な交渉の進展を心強く感じた。パンデミック状況の進展にもかかわらず、C O C 交渉テキストシングルドラフトの二読目を継続するために行われた努力を評価。C O C 交渉に資する環境を維持及び促進する必要性を強調し、緊張を緩和し、事故、誤解、誤算のリスクを軽減させ得る実践的な措置を歓迎。特に当事者間の信用及び信頼を強化するための信頼醸成と予防措置の実施の重要性を強調。U N C L O S を含む国際法を遵守することの重要性を

再確認。(パラグラフ35)

- 南シナ海の状況について議論の上、信用と信頼を損ない、緊張を高め、また、この地域における平和、安全及び安定を損ない得る、埋め立て、活動及び地域における深刻な事案についての懸念を一部の閣僚が表明。相互の信用と信頼を高め、紛争を複雑化又は悪化させ平和と安定に影響し得る活動に当たって自制し、状況を更に複雑化させる可能性のある行動を回避する必要性を再確認。UNCLOSを含む国際法の普遍的に認められた原則に従って、紛争の平和的解決を追求する必要性を再確認。DOCで言及された活動を含め、非軍事化と南シナ海における状況を更に複雑化し、緊張を高め得るクレイマント国やその他全ての国による全ての活動の実施における自制の重要性を強調。(パラグラフ36)

(持続する地域的枠組み)

- ASEANの中心性の強化、開放性、透明性、包摂性、ルールに基づく枠組み、グッド・ガバナンス等の原則を述べた「インド太平洋に関するASEANアウトルック(AOIP)」をASEANが重視していることを認識。平和、安定、自由及び繁栄に寄与するため、AOIPがアジア太平洋・インド洋地域におけるASEANの関与の指針となることを認識。AOIPに言及された優先分野において、関与を促進し、互恵的な協力を探るため、ASEANとの連携について更なる議論を期待。(パラグラフ38)

(了)